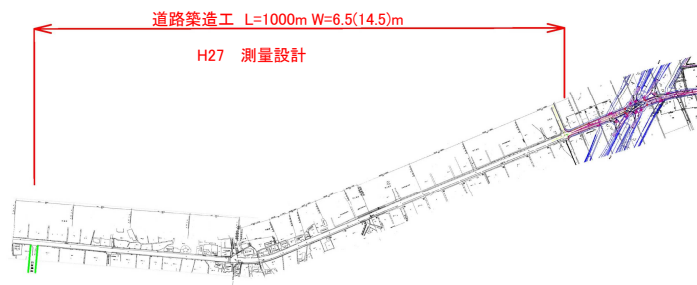
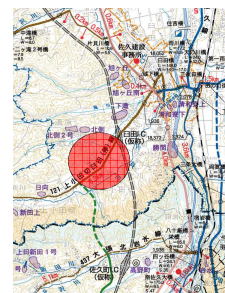


(様式2)新規評価シート

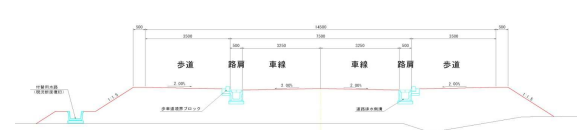
建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(一)上小田切臼田(停)線					
事業毎の通番		17	市町村名	佐久市	箇所名(ふりがな)	中小田切(なかおたぎり)				
事業概要	事業目的	当路線は中部横断道臼田IC開設に伴う、交通量増が予想される路線である。臼田IC開設は平成29年度とされており、開通により、同時期に開通予定の広域農道への大型車の通行が増加するなど、交通状況が変化する。広域農道接続部は道路改良により整備されたが、当該区間は幅員狭小区間である。大型車のすれ違いが困難な状況であり、この路線を生活路線とする住民の利便性向上のためにも整備が急がれる。								
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり(暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法					
	関連する事業、計画等									
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量 : 4,700台/日								
	着手年度	平成27年度	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)				
	完成年度(見込み)	平成29年度	費用対効果	2.3	国庫	90,000	其他	54,000	一般財源	6,000
	全体事業内容(主な工程)	道路築造工 L=1000.0m W=6.5(14.5)m			150,000	90,000		54,000	6,000	
	年度事業内容(主な工程)									
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行経費の減少 5.6億円 災害に強い道路							
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進							
評価の視点	必要性	○計画自動車交通量 : 4,700台/日 ○代替道路の有無 : 無 ○医療・福祉・教育施設との連携 : 雨宮病院との連携が発揮できる道路 ○地域の活性化 : 臼田商店街の活性化に資する							評価	A
		重要性	○関連計画、重点施策との整合 : 無 ○緊急輸送路の路線指定 : 避難経路となる路線 ○地域指定 : 地域指定はない							評価
	効率性		○費用対効果(B/C) : 2.32 ○事業期間 : 3年 ○代替案の検討 : 無 ○他事業との連携 : 広域農道							評価
		緊急性	○近年の交通事故件数 : 0件 ○危険箇所対策 : 危険箇所の該当はなし ○渋滞及び騒音・振動の緩和 : 朝夕の局部的現象の緩和 ○歩道整備 : 通学路対策							評価
	計画熟度		○事業情報の共有 : 地区の代表者から要望がある ○地域の取り組み : 協力的である ○地域の合意形成 : 事業目的について合意形成が図られている ○住民との協働 : 佐久市と調整をはかり計画策定							評価
		部意見	事業の必要性、効率性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。		行政改革課意見	必要性が認められる。			評価結果	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表



【整備の必要性がわかる状況写真等】



事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	中部横断道開通、(仮称)臼田IC開設により予想される交通量増加に対応するため、未改良区間の改良が地区より強く要望されている。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	毎年地区役員から要望があるが、(仮称)臼田ICアクセス道路有線を理由に未着手であったが、アクセス道路の交付金事業化に伴い、着手を強く要望されている。		
	③事業説明等の経緯	地区要望へ前向きな検討を約束した。		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連			
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	地形の改変量を極力少なくするよう現況重視に設計する。		
	⑥地域活性化への影響と配慮			
	⑦その他			
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 10' 36"	東経:E 138° 27' 40"	